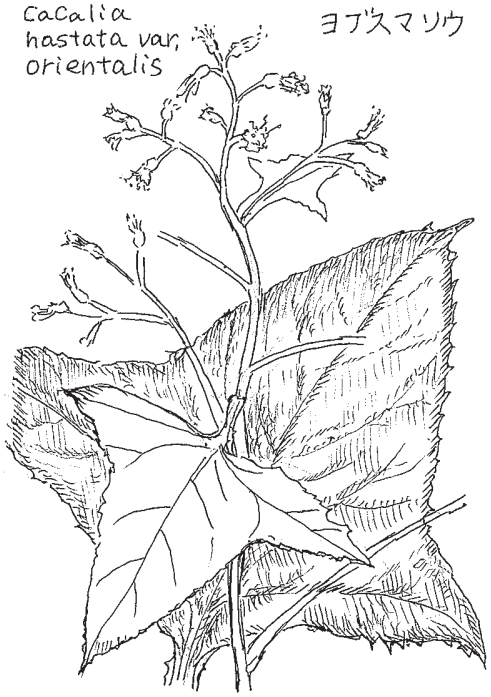
室内公園 色彩館 SHIKISAIKAN
岩見沢市志文町７９４
No.４９７
2026年11月1日発行

いわみざわ市
緑の相談コーナーだより

いわみざわ公園バラ園 www.iwamizawa-park.com

今月の便り

ヨブスマソウ



ヨブスマソウ（学名 Parasenecio robustus）は、北海道～本州北部などに分布するキク科コウモリソウ属の多年草で、草丈は 90 ～ 250cm で大型の植物です。茎は中空で、若いうちは茎や葉に軟らかい毛が密生し、山地の林の中や谷間の湿った場所に群生します。夏から秋に山道を走っていると大きい三角の葉がよく目立ちます。

葉は大きいと 30ｃｍほどになり、葉柄には翼が有り、いわゆるコウモリ形で、縁には粗い鋸歯があります。山間部にはとても多いのですが平野部では全くと言っていいほど見られません。

夜衾（ヨブスマ）とは昔の夜着（寝具）の意味で、さらにムササビやモモンガの方言がヨブスマで、空中滑走する姿を葉の形を見立てたものという説もあります。別名で、ホンナ、ポンナ、ドウナ、ともよばれます。ホンナやポンナは、茎を折ったときに出る音に由来しているそうです。

花は夏から秋（7～10月）にかけて咲き、茎頂に大形の円錐花序を出し、頭花を多数つけます。小花は 6 ～ 9 個の白色の管状の花です。山菜として食べられ、ウドブキと呼ばれることもあります。クセの強い香りが特徴で、大きく生長すると匂いが強くなりすぎるので、まだ葉が巻いている太い若芽を、軽く折り取れるところで採取します。（いとう）

北海道の庭を冬の寒さから守る

北海道では、積雪だけでなく、厳しい冷え込みや乾いた寒風から植物を守ることが大切です。冬支度は、雪が本格的に降る前の 10 月下旬～ 11 月を目安に始めましょう。

宿根草は、地上部が枯れても根は生きています。地際で刈り込み、株元に落ち葉や腐葉土、バークなどを 5 ～ 10cm ほど敷くと、凍結と乾燥を防ぐことができます。ただし、蒸れやすい植物は厚く覆いすぎないよう注意します。

バラやクレマチスなど寒さに弱い植物は、株元を厚めにマルチングし、必要に応じて不織布や防寒材で覆います。特に冷たい風が直接当たる場所では、風よけを設けると効果的です。常緑樹や若木は、冬の乾燥と寒風による葉焼けにも注意します。植え付け後間もない木は、支柱で固定し、幹を防寒材で保護すると安心です。

また、雪が積もったら、枝に大量の雪が載ったままにならないよう、時々やさしく雪を払

＊「今月の便り」 次ページへつづく⇒

いましょう。屋根からの落雪が当たる場所には植物を植えないことも重要です。
　北海道の冬越しは「凍らせない」だけでなく、「乾燥させない・風にさらさない・雪の重さから守る」がポイントです。植物の種類や場所に合わせて、無理のない防寒対策を行い、春の芽吹きを楽しみに冬を迎えましょう。（たかはし）

熱湯を使う

今回はエコでちょっと役にたつ熱湯の使い方です。
　例えば煉瓦や踏み石の隙間などに生えるなかなか抜けない草には熱湯がおすすめ。また、カメムシやナメクジなど虫や幼虫を大量に捕獲した場合も熱湯を注いで動かなくなったら、庭の隅で埋めたりコンポストや堆肥に入れると、有機物なのでやがて分解され土に戻ります。
　地球環境が怪しくなっている昨今、生き物の世界もバランスが崩れて、私達の生活は虫の大量発生に脅かされたり、逆に何かが絶滅しそうになれば気になってくるものです。できれば人間の生活でこれ以上地球環境をくずしたくないと思うのですが、みなさんはどうでしょうか。
　虫に殺虫剤をかける事、雑草に除草剤をかける事、時に仕方のない事です。ですが、できる範囲で地球に優しい方法でと思ってしまいます。
　そうそう、屋外でカメムシに熱湯を注ぐと芳しいパクチー臭がします。苦手な人はマスクをして防除をしてください。（きのした）



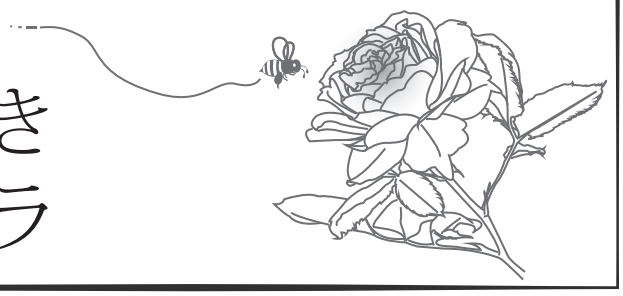
お知らせ

【開館時間変更のお知らせ】
室内公園「色彩館」は 11 月 4 日から 3 月 31 日まで開館時間が 9：00 ～ 16：00 に変更になります。ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

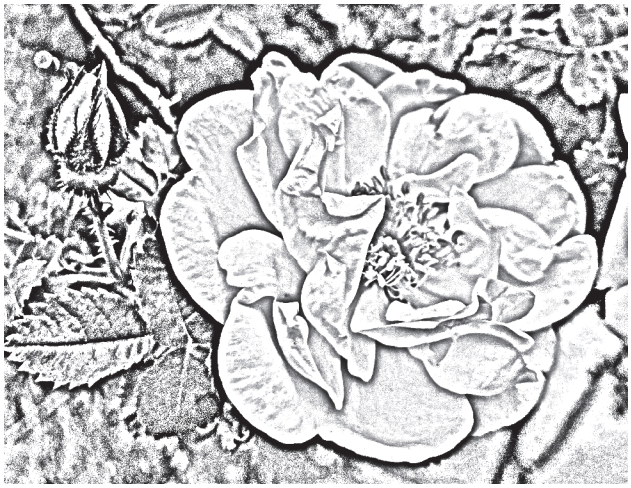
【PIZZERIA　Lucci】
11 月も通常営業いたします。営業時間　11：30 ～ 15：00（L.O 14:30）
定休日　第 1・3 火曜日　毎週水曜日

【室内公園「色彩館」からのお願い】
当館では植物の引き取りを一切行っておりません。予めご了承ください。
育て方等でわからないことがありましたら、緑の相談コーナーへお気軽にお問い合わせください。

ひとつき ひとバラ



文：　小　林　薫
（いわみざわ公園バラ園）



第百四十三回

ハイブリッドスピノシッシマ

ウィリアムズ ダブル イエロー

William’s Double Yellow
作出者：John Williams
作出国：イギリス
作出年：1820 年代（1846 年、1899 年という説もある）
ハーディネスゾーン：6b ～ 9b　一季咲き
交雑：Rosa pimpinellifolia L. synonym × Rosa foetida Herrm.

今回はスピノシッシマの仲間である「ウィリアムズ ダブル イエロー」をご紹介します。

当園がもつスピノシッシマ系コレクションの中で、背の高くなる品種のひとつです。デヴィッドオースチンやヘルプミーファインドの HP では大体 1.2 ～ 1.5m と紹介されており、公園の株も 1.6mくらいまで生長しています。

八重のカップ咲で花径は 2cm ほどと小さめですが、このバラの魅力はなんといってもその色です。バター色ともいえる、明るい黄色が目を引きます。ある程度耐陰性があるため当園ではシラカバの下に植えていますが、人の背丈くらいすらりと伸びた株が細い枝いっぱいに花をつける姿は、その場をパッと明るく照らし、初夏の訪れを知らせてくれます。（他のスピノシッシマ系と同じく早咲きのため、6 月頭ごろが見頃です！）

ハーディネスゾーンは 6b ～となっていますが、当園では株を縛り、竹を周りに刺して結束するだけ、コモなしで越冬しています。

スピノシッシマ系の品種は古いものが多いせいか、「ウィリアムズ ダブル イエロー」についても混乱が見られます。ややこしいのが「ハリソンズ イエロー（別名ハリソニー）」という品種の存在です。スコッツローズ研究家のボイド氏によると、この品種はアメリカ NY の弁護士でアマチュア育種家のハリソン氏が作出したもので、「ウィリアムズ ダブル イエロー」とほぼ同時期に生まれ、かつ同じくスピノシッシマとフェティダを交配親に持つとのことです。見た目も写真で見る限り非常に似ています。デヴィッドオースチン HP では雌しべや雄しべの色、樹形、花形が違うように記載されていますが・・・。当時、他のナーセリーでも同じ交配の組み合わせから多数の実生苗が生まれており、「ハリソンズ イエロー」自体からも実生苗が育てられたため、現在流通している八重咲の黄色い「スコッツローズ」のうち、どれが本来の「ハリソンズ イエロー」なのかは分からないようです。ということは「ウィリアムズ ダブル イエロー」として流通しているものも、実際のところ何者なのかは分からないですね。いつか遺伝子検査が行われ、解明されるといいなあ、と思います。

クリスマスオカリナコンサート



12 月 6 日（日） 14：00 開演
場所：室内公園「色彩館」 大温室内
オカリナ：斉藤　かすみ　さん





今月の市民園芸講座のご案内

●11 月 14 日（土） ローズヒップでクリスマスリースをつくろう
13：00 ～ 15：00
材料費：1,500 円　定員 10 名　講師：バラ園スタッフ

●11 月 15 日（日） 多肉植物の寄せ植えをしよう　13：00 ～ 15：00
材料費：2,200 円　定員：20 名
講師：椿　豊　さん

※お申し込みは講座開催月の 1 日（休園日の場合は翌営業日）
9：00 ～電話で受付ております。
※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。
電話 :0126-25-6111　ホームページ :https://iwamizawa-park.com/
※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。
連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。
※材料費のかかる講座は、講師の準備等の都合上、開催日 3 ～ 4 日位前までにお申込みをお願いいたします。
※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。

編集・発行　空知リゾートシティ株式会社 (いわみざわ公園バラ園指定管理者)
お問合わせ　いわみざわ公園バラ園　室内公園「色彩館」 0126-25-6111